

2015 ASEAN-JAPAN 国際省エネシンポジウムをラオスにて開催

電力消費が著しい伸びを見せる ASEAN 諸国において、民生部門の省エネルギー対策の一環として、家電機器分野のエネルギー効率基準及びラベリング制度（S&L 制度）の重要性が認識されています。

このような背景の下、制度整備が遅れているラオスにおいて、2015年12月15日、ヴィエンチャンの Mercure Vientiane Hotel にて “2015 ASEAN-JAPAN Energy Efficiency and Conservation Symposium on Standard and Labeling Policy in Vientiane”（主催:ECCJ and ASEAN Center for Energy (ACE), 後援: METI Japan, 開催: Ministry of Energy and Mines (MEM) Lao PDR）が開催されました。

このシンポジウムの目的は、ラオスの今後の制度整備推進にとって必須となるステークホルダーに参集いただき、制度整備に向けた機運の向上、関係者間のネットワーク形成、高効率エアコンの普及促進で、当センターが実施する“ASEAN-Japan Energy Efficiency Market Transformation with information Provision Schemes (AJ-EMTIPS)”の一環として行われました。

ラオス MEM, IREP Deputy Director General、Dr. Seumkham Thoummavongsa、ACE Mr. Rio Jon Piter Silitonga、当センター祖川二郎常務理事、EE&C-SSN コーディネーター Ms. Amaraporn Achavangkool（タイ）、MEM、ACE、ECCJ 各関係者並びにマレーシア、タイからの招聘講師が参加し、情報や課題の共有、意見交換が行われた。

